

令和2年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加南高等学校)

目指す学校像	困難に挑戦する強い心と豊かな人間性を育み、グローバルな視点をもって社会に貢献する人材を育成する
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 主体的・対話的で深い学びの実践と知識・技能の習得を、高い次元で融合する学習指導を研究し構築する 2 生徒ひとり一人の特性を多角的な観点から把握し、自主性を促しつつ成長への適切な指導を組織的に行う 3 多様な進路実現に向けきめ細かな指導を継続すると共に、大学入試改革に対応できる進路指導を確立する 4 グローバル人材育成事業及び本校独自のプログラムを通し、地域に開かれた学校づくりを推進する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標			年度評価(令和2年2月1日 現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> 本校生徒の授業に取り組む真摯な姿勢は高く評価されている。 生徒が自ら興味関心を持ち学習活動を一層充実させていくために、主体的・対話的で深い学びの手法を取り入れた授業改善を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会が必要とする人材の育成のため、主体的・対話的で深い学びに着眼した授業展開を実践する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業について、教員の目標設定に、主体的・対話的手法を含める。 2 授業研究を実施し、授業力を向上させる。 3 朝学習、学習支援メディア、家庭学習等を活用し、生徒の知識・技能の習得を定着させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業時間を確保するための工夫(学習効果と行事の有効性との調整) <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートで理解度等の割合(目標前年度比10%増) 2 公開授業、先進校視察等(問題作成、指導法等) ・未来学びプロジェクトへの参加 ・年次研修等の公開授業の実施 3 朝学習の実施とスタディアプリの活用 	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染症に係る臨時休業中及び年間の学習活動計画を検討及び工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・動画配信 107件(各教科作成、Google Classroom, Google Meet等を活用) ・授業アンケート(12月)理解度7.5%増(昨年度77.5%) 2 未来学びプロジェクト 3名参加 ・研究授業5件(初任研、年次研:11月) ・公開授業(中学生対象10月) 3 双方向通信アプリを活用:課題や学習状況の情報交換等の取組増(スタディアプリ等) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の動画配信、双方向通信等の効果的なアプローチと授業改善の取組で授業理解度はアップしている。さらに継続して取組を進めていく。 ・研究授業、公開授業等を通して、授業力アップに取り組んでいる。先進校視察、研修会等に積極的に参加し、授業力アップの場を構築していく。 ・スタディサプリの活用は効果的に実施できているが、使用する教科科目の範囲を広げ、活用頻度を上げていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒は、基本的な生活習慣や規範意識を確立しており、一層確かなものにしていく必要がある。 学校行事や部活動等を通して、生徒一人ひとりの自主性や自律性等の人間力を育成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の規範意識を育成し、挑戦する場を提供し、生徒が自ら振り返ることができるよう指導していく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校行事、部活動等を活性化させ人間力を向上させる。 2 生徒の情報を学年・分掌・教科等で共有し、組織的に生徒を育成する。 3 eポートフォリオ等の多角的評価システムを活用し、生徒の自己肯定感を向上させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校行事等を効果的に実施 2 生徒指導部、人権教育委員会等による取組(交通安全指導、薬物乱用防止、人権教育等を効果的に実施) 3 行事及び日頃の取組(学習、生徒会、部活動等)について、eポートフォリオ等の活用及びフィードバックを組織的に実施。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 草南映画祭(9月)体育祭(10月)を実施するなど、人間力育成のため、効果的な取組を実施 ・部活動加入率 92.3% (県大会出場多数) 2 交通安全指導週間:年間5回 ・人権教育: SNS業者と連携し、オンラインでワークショップを実施(12月) 3 総合的な探究の時間を活用(年間20回) ・修学旅行、探究の時間等のプレゼン(12月) ・スーパープレゼンテーション(1、3年) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止対策の影響で学校行事が中止または縮小となり、内容を工夫し実施できた。今後は、例年実施していた教育活動を復活すべく検討し、実施に向けて取り組んでいく。 ・「総合的な探究の時間」を有効に活用し、コミュニケーション能力を向上すべく、自己肯定感の育成に取り組む。
3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路希望は多様であり、3年後を見通した進路意識の育成が必要である。 個々の生徒の進路実現に向けて、キャリア教育等を進め、さらに職業意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい入試システムに対応しつつ、生徒一人ひとりの進路実現のため、体系的かつ組織的な進路指導を展開する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種ガイダンス等の工夫によりキャリア意識を高め、進路実現へつなげていく。 2 効果ある大学入試対策講座の設定と参加者の増加。 3 英語検定等に係る学習指導を研究し、生徒の意識を向上させ、合格者を増加させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 講演会、ガイダンス等の実施(各種ガイダンス、保護者会等) 2 進路実現に向けたサポート体制の充実 ・大学入試に向けた対策講座の実施 ・進路検討会、研修会の実施 3 英語検定等の受験及び合格者数(英検準2級、2級の合格者数昨年度以上) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 進路行事の生徒の満足度70%超 ・大学入試総合型選抜合格者 37%増加 ・大学入試一般受験者 3.4%増加 2 実力テスト分析会(年5回)・夏季進学補講(全学年31講座)補習参加のべ419名 3 英語検定10月実施(全員受検)年間合格者:準2、2級90名(昨年度106名) ・英検準1級合格3名(通年) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が将来必要な力を見据えて、各種ガイダンス等を提供していくとともに様々な入試制度に対応すべく、小論文指導を含めた各種進学補講を充実させる。 ・様々な希望や夢を持つ生徒への学力等の分析及び実態を踏まえ、丁寧な指導と生徒が後悔しない進路選択を支援する。 ・英語検定の全員受検を継続して実施していく。(準2級2級合格者の増加)
4	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携が、生徒会及び部活動を中心に活発に行われている。 グローバル教育及び本校独自のプログラムの精度を向上させるとともに、さらに地域・保護者等に開かれた活動を実践していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動を積極的に発信し、様々なボランティア活動及び語学学習に係る事業を展開していく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 積極的な情報発信と様々なボランティア活動を展開し、地域の活性化と生徒の人間的な成長を支援する。 2 グローバル教育に係る独自の語学行事等を展開し、語学的、文化的な交流を実践する。 3 語学研修等を充実させ、地元大学・研究機関等と連携し語学への意識を一層高める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ホームページ、メール配信の充実 ・学校説明会、入試個別相談、中学校訪問等の実施(通年) 2 地域との連携と交流の実施(昨年度、介護施設等19件) ・生徒会、部活動等・国際語学ボランティア・異文化交流・小学校等との語学ボランティア等 3 各種語学研修の実施(ブリティッシュヒルズ、大学との連携等) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校行事、「総合的な探究の時間」及び部活動の活動記録等のホームページ掲載 ・学校説明会、草南ライブ体験会(年5回) ・中学校訪問近隣66校(7月12月) 2 草加かがやき特別支援学校との交流計画(生徒会、吹奏楽部)地域小学校の英語授業のサポート計画、草加市、獨協大学との国際交流計画 ・新型コロナウイルス感染防止のため中止 3 国内語学研修 British Hills 2泊3日実施(福島県)36名参加 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会参加率及び本校への進学希望者数が低下した。その理由を分析し、本校の魅力を地域に伝え、進学希望者数アップに向けて取り組んでいく。 ・グローバル教育を継続して推進し、外部機関と連携し、SDGsに関するワークショップ等を実施していく。 ・語学研修の実施は、保護者からも高い評価を受けている。今後、さらなる効果的な取組に向けて努めていく。

学校関係者評価
実施日(令和3年2月8日)
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、生徒は世の中の状況をしっかり観察し、しっかり対応しているようだ。動画配信及び双方向通信アプリの活用と同時に生徒が自主的に学習できる環境づくりと学習支援が大事である。 ・本年度の経験を生かして、教育活動のスリム化を検討しつつ、教職員が、生徒と向かい合う時間を確保して頂ければと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を通して、生徒と教員の信頼関係が築けている。 ・様々な学校行事や取組が縮小及び中止となると、友人づくりを含めて、人間力育成の場が不十分になる場所であるが、なんとか工夫して生徒が学校生活を送るために適切な環境を提供して頂いている。
<ul style="list-style-type: none"> ・大学等の入試体制は刻々と変化しているため、情報を収集し、教職員でシェアして生徒に還元して頂きたい。夏季補習等は、生徒に寄り添った進路指導されていることは、高く評価できる。 ・資格試験合格は自己肯定感アップにつながるため継続して頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元中学校および保護者には、グローバル教育、語学研修等の取組をさらに発信し、草南の魅力を伝えていくことが大事である。 ・これまで、様々な外部機関と連携し、交流及び連携されてこられたようだが、今年度の経験を生かして、ボランティア等の行事を精選し、生徒の育成のため取組を一つ一つ強化して頂きたい。